

用途	新設道路橋 橋台基礎
工事名	八田川地域防災対策 (緊急河川整備)工事
工事場所	京都府綾部市上杉町地内
発注者	京都府中丹東土木事務所
施工時期	平成20年1月～平成20年3月
杭形状	A1橋台：直杭 6.8m×7本
杭延長	47.6m
鋼管仕様	API N-80 φ177.8×12.65t
標準鋼管長	2.0m
鉄筋仕様	SD490 D51
標準鉄筋長	3.0m
削孔方式	ロータリーパーカッション二重管方式
削孔機	クローラタイプ (TRG-1000) ノーマルブーム
空頭制限	なし
上層地盤	シルト・砂礫
定着地盤	斑れい風化岩

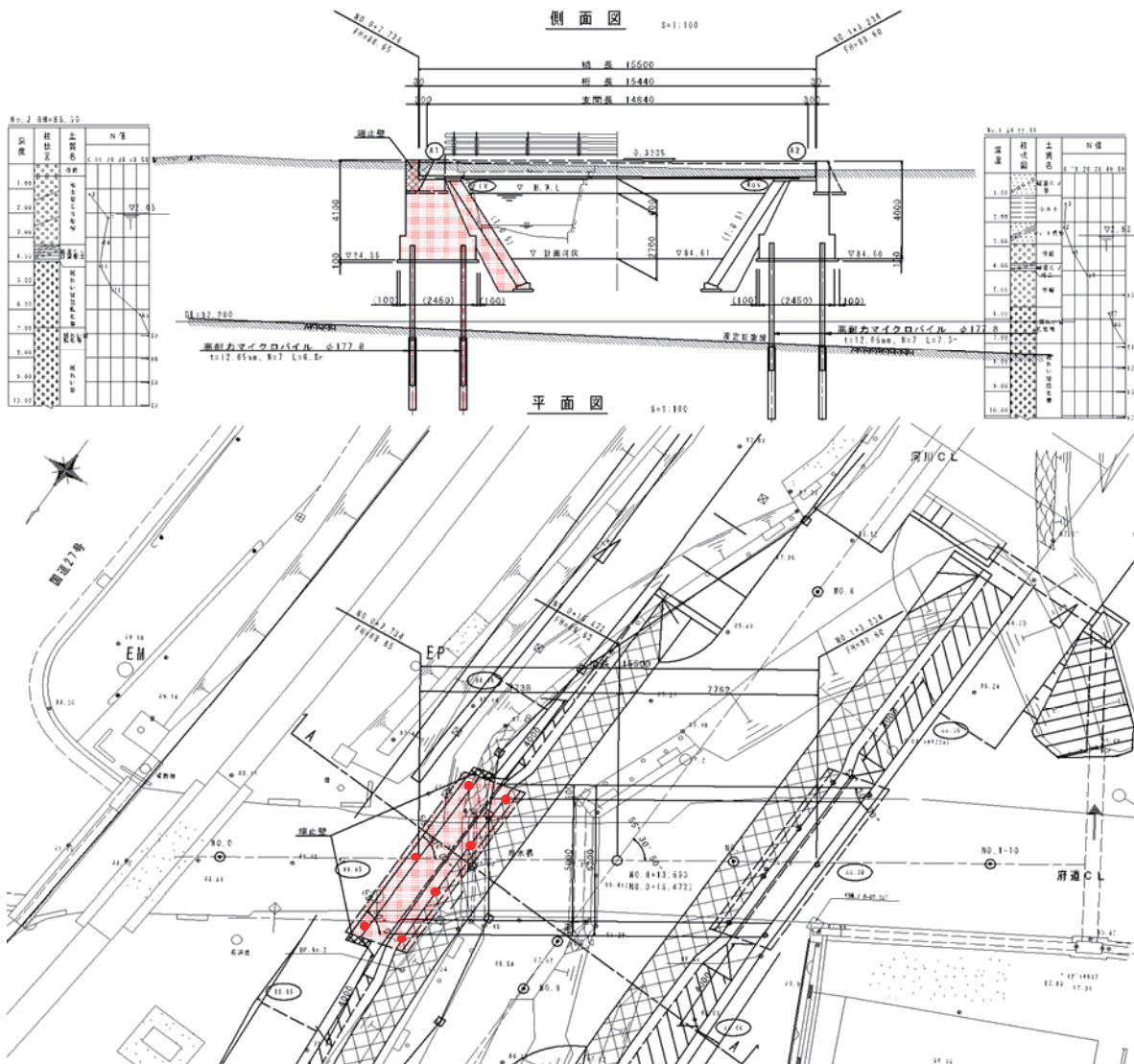
## 工事の特長

・本物件は、橋梁の架替え工事にとまなう橋台の新設工事である。

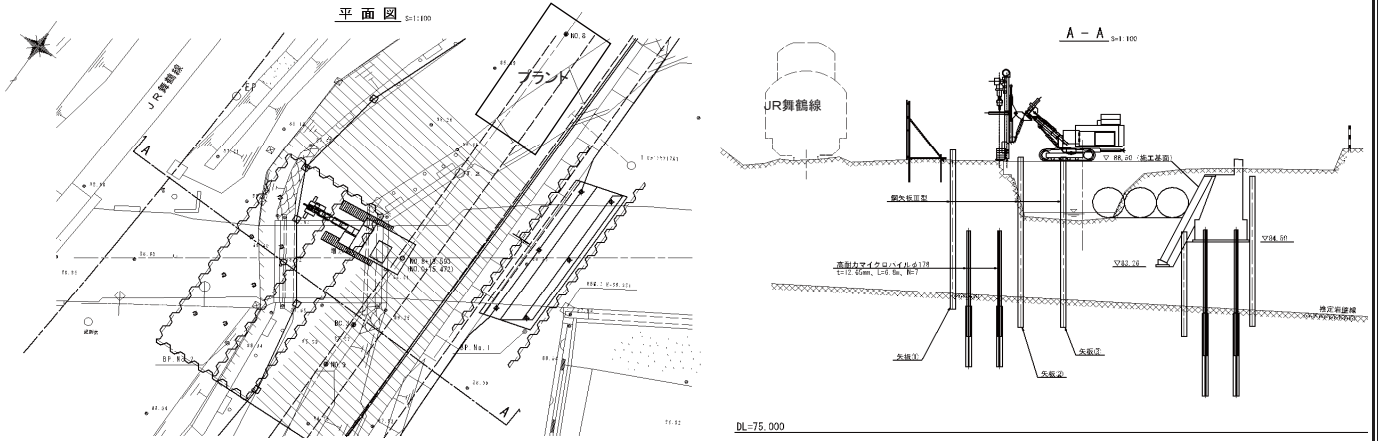
・JR舞鶴線に近接した狭小スペースという立地条件から、小型機械の使用により狭隘箇所での施工が可能であり、小口径削孔で鉄道を含めた周辺への影響が小さい高耐久マイクロパイルが採用された。

・コルゲートパイプで河川通水断面を確保した状態で、河川を埋めて施工基面を確保し、約4.0mのヤッコ施工を実施した。

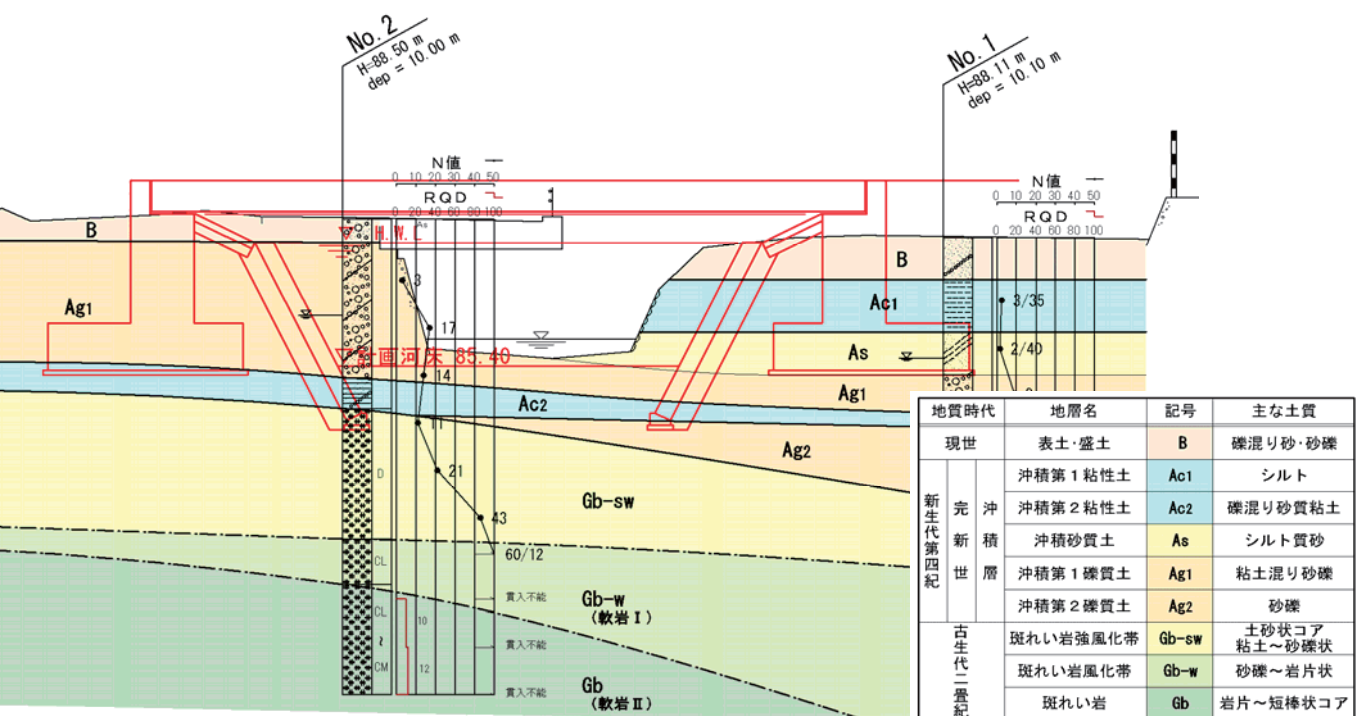
## 概要図



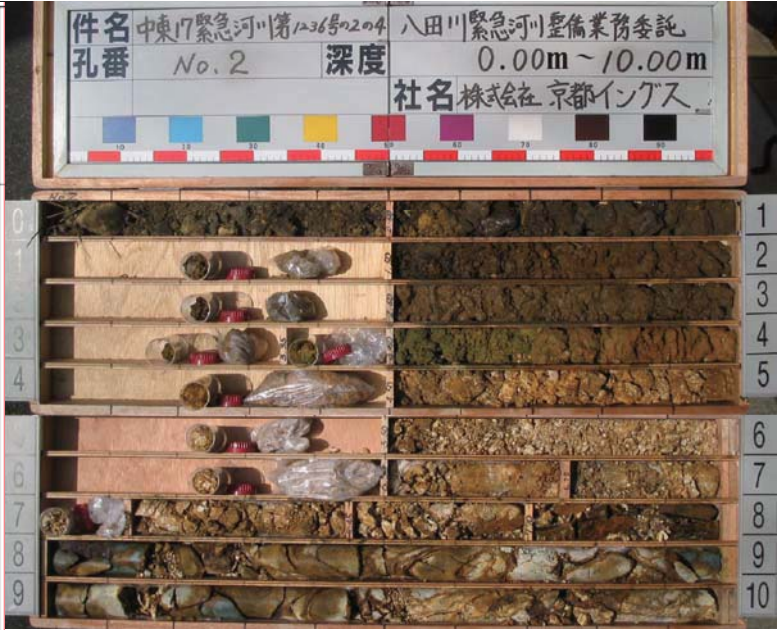
施工要領図



土質柱状図



標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
1	88.00	0.30	[Diagram]	砂礫	暗茶						表土。礫はφ10~50mm程度。砂はルーズな口砂。
2	85.15	3.35	[Diagram]	粘土混り砂礫	暗茶・茶褐色						礫はφ10~30mm主体。最大φ50~60mmあり。全体に粘性を強弱に帯び、部分的に粘性上優勢。含水量中位。GL-2.00m以深では多くなる。
4	84.30	4.00	[Diagram]	礫混り砂質粘土	青灰~黄茶						粘性やや強く、φ10mm前後の礫混入。GL-3.70m以深、粘性強く、砂分を多く含む。礫は若干。
6	81.75	6.75	[Diagram]	斑れい岩強風化帯	黄茶褐色	II	V	d	e		礫混り砂質粘土状のコア。風化の程度が著しく、礫は砂状に消せる。酸化・褐色化が著しい。若干、未風化の礫が混在する。
7	80.90	7.70	[Diagram]	斑れい岩風化帯	黄茶灰	IV	V	d	b		砂礫~岩片状コア主体。GL-7.12m以深よりやや円柱状で採取するが、手でボロボロと崩れる。未風化の岩片は比較的残存。
9	78.50	10.00	[Diagram]	斑れい岩	淡茶灰	C	III	c	y		岩片~短棒状で採取。コアは硬質であるが、亀裂に沿って割れやすい。亀裂面は酸化・褐色化著しく脆弱化。



施工状況写真



着工前全景



現場全景



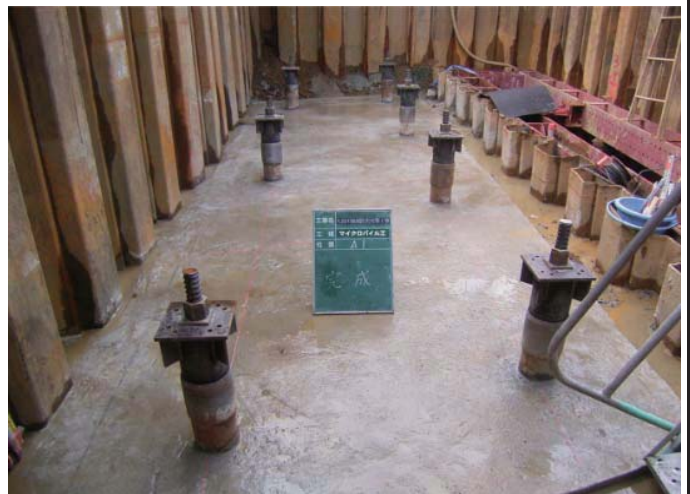
施工状況



施工状況



プラント設備



完成全景